

いふとん



仁淀川町
広報

12

2006年
月号 No.17



11月12日、筒上山山頂付近は樹氷で銀世界

混

時

交

季

主な 内容

- 2〜3.....全国大会で森分団準優勝
- 4.....100歳おめでとう
- 6.....しもの祭り
- 7.....岩屋川溪谷と田舎料理満喫ツアー
- 16.....所得税と個人住民税の税率が変更

森分団準優勝！

第20回全国消防操法大会



左から片岡龍也分団長、指揮者・掛水稔副分団長、1番員・合田真也団員、2番員・西森龍平団員、3番員・若藤正樹団員、4番員・宮本嘉彦班長、補助員・片岡一雄部長
(会場の兵庫県立広域防災センター)

十月十九日、兵庫県立広域防災センター（三木市）で第二十回全国消防操法大会が開催され、高知県代表として森分団がポンプ車の部に出場しました。全二十四チーム中、見事準優勝（大会規定により二、四位が準優勝）に輝きました。またポンプ車の部優秀団員（指揮者）に掛水稔副分団長が選ばれました。



ポンプ車操法は、指揮者の「操作始め」を合図に、ポンプ車から左右それぞれ二十メートルのホースを三本つなぎ、標的に向けて放水します。

標的を倒すまでの基準タイムを、一秒でもオーバーすれば減点、速ければ加点されますが、タイムだけでなく動作なども採点の対象で、士気、規律を含めた迅速な操法技術を競います。

森分団は、昨年十一月に開かれた高知県消防操法大会で優勝し、全国大会出場を決めました。それから約一年、片岡龍也分団長の下、県大会以前よりもより一層厳しい練習を続け、本番では息の合った操法を行い、見事準優勝を果たしました。

また大会には、藤崎富士登町長をはじめ、近畿在住の仁淀川町出身者や町消防団関係者らも大勢応援に駆けつけて競技を見守り、素晴らしい成績を収めた森分団を大きな拍手で祝福しました。

僕たち私たちも

火の用心

幼年消防クラブとして活動している、名野川・ふたば・長者保育所の園児らが各地域で防火パレードを行いました。

大きな声で「火遊びは絶対しません」と防火の誓いをするともに「お父さん、寝たばこは絶対しないですね」などと、沿道に集まった家族や地域の方々に火の用心を呼び掛けました。



名野川保育所（十一月二日）

♥ 温かい出迎えに あらためて喜びが ♥

十月二十日に、森分団は帰町。森の商店街から仁淀総合支所までお祝いのちようちゃんが飾られ、地域の方など約二百人が団員らを大きな拍手で出迎えました。

団員は準優勝の楯やメダルを披露し、あらためて喜びをかみしめていました。



仁淀総合支所前で準優勝を報告

◆ 祝賀会 ◆

十月二十二日には、仁淀多目的研修集会施設で消防団関係者、家族ら約二百人が出席して盛大に祝賀会が行われました。

町長ら来賓からは「会場は約七千人の観衆。そんな中で日ごろの練習の成果を発揮し、実力が出せたことは素晴らしい」「大会終了後、重圧から解放されたのか、涙を流す団員がいた。大きなプレッシャーを克服し見事な成績を収めてくれた」「掛水副分団長は日本一の指揮者に選ばれた。おめでとう」とお祝いの言葉が贈られました。

重圧から解放され涙… 団結力と努力の結果

これに対し、片岡分団長は「大会に至るまで行政、高吾北消防署、地域の方々、家族にご支援、ご協力をいただき、無事終えることができた。皆さんの応援と団員の団結力、努力で準優勝を収めることができた。皆さまのご温情に対し、防火・防災活動で恩返しをしていきたい」と謝辞を述べました。

また各団員は「大勢の人からの応援が勇気になった」「平常心で悔いのない操法をしようと思った。この経験を、これからの消防団活動に生かしてい

く」「胸が張れる準優勝」「素晴らしい仲間を誇りに思う」「分団の諸先輩方のおかげ。またほかの各分団と切磋琢磨してきた結果。貴重な、素晴らしい体験だった」などと大会の感想を話していました。



優秀団員・掛水副分団長を胴上げ
(大会会場)



ふたば保育所（十一月九日）



長者保育所（十一月十日）

100歳おめでとう

このたび、町内のお2人の方が100歳を迎えられました。それぞれの誕生日には、長寿祝いを藤崎富士登町長が手渡しました。

片岡喜代子さん



片岡喜代子さん（寺村）は、明治三十九年十一月十六日生まれ。四年ほど前からあがわ荘に入所しており、車いすの生活ではありますが「とても元気な百歳」と評判です。町長からのお祝いに「おおきに。うれしい」と満面の笑顔を見せていました。

あがわ荘の職員も「入所してきたときと全く変わってない。車いすを自分で動かし、遊ぶことなど何にでも関心が

あり、話も好きですよ。体調を崩してもすぐに回復し、丈夫な体ですね」と話していました。

「若いときは牛を使うて田んぼをやった」と懐かしそうに昔を振り返る片岡さん。

またプロ野球が好きで、大阪に住んでいたことがあることから「野球は阪神が好き」とのこと。特に星野前監督がお気に入り、三年前にリーグ優勝したときは大はしゃぎだったそうです。

尾崎 水恵さん



尾崎水恵さん（岩戸）は、明治三十九年十月二十四日生まれ。体が弱く入院生活が長い尾崎さんですが、一月ほど前に高知市内の病院から越知町内の病院へ転院しました。寝たきりの時期もありましたが、今では車いすで生活できるようになっています。

病院ではリハビリをしたり、食堂に集まってお茶を飲みながら話をしたり、相撲があるときはテレビも見るとそうです。

少し耳が不自由ですが、大きな声で話し掛けると、しっかりとした口調で話をされています。お祝いを受け取った尾崎さんは「町長さんには初めてお目にかかります。ありがとうございます」とお礼を述べました。

「子どもは六人。孫はいっぱいいます」などと話し、長生きの秘けつは、との質問には「それは分かりません…」と答えていました。

老人クラブ社会奉仕作業

全国老人クラブ連合会では、毎年9月20日を「社会奉仕の日」と設定し、全国一斉に奉仕活動を行っています。これは環境美化活動に取り組むことにより、地域社会に対する感謝を表すとともに、地域の担い手としての活力を示そうとするものです。

町内の各老人クラブでもこの日を中心に地域の清掃をするなど、社会奉仕作業を行っています。

老人クラブ寿会（大崎 会長・河瀬喜代美）も9月27日に12人が参加して、保健センター裏のコミュニティ広場周辺の除草作業を行いました。



老人クラブ寿会の皆さん

歴史ある生徒会活動

仁淀中

仁淀中学校生徒会では、スクールのバスの通学などで利用している森、川渡、中ノ瀬、長者、泉川、折合の六カ所のバス停の清掃を行っています。

この活動の正確な記録は残っていませんが、昭和六十年以前から続いており、自分たちだけでなく一般の方も利用するバス停の待合所やトイレを気持ちよく使ってもらおうと毎週金曜日の下校途中に約二十分かけて清掃しているものです。真夏の暑さの中でも、寒さの厳しい時期でも行うこの活動は、生徒たちの間で代々受け継がれています。

生徒会執行部五人の皆さんは「自分たちが地域のために、少しでも貢献できればと思っています。周りの人から『きれいにしてくれるのでうれしい』と言われると私たちもうれしいです。地域の人もバス停をきれいにしようという気持ちでできようです」と話していました。生徒会担当の足達美栄子先生は「トイレ掃除を嫌がらずに抵抗な

バス停清掃で地域に貢献

くしているのには感心する。この経験が大人になっても生かされるのでは。また掃除だけでなく『高齢者のためにトイレを洋式にしたら』『寒さをしのげる待合所にしてほしい』など、自分たち以外の利用者のことを考え、いろいろな提案をしてくる。みんなの意見が地域の活性化につながればと思います」と生徒たちの自主的な活動について誇らしげに語っていました。



清掃の様子（川渡バス停）

11月7日、仁淀多目的研修集会施設で、第2回仁淀川町健康福祉大会(大会会長・鎌倉一一＝社会福祉協議会長)が福祉関係者やボランティアの方々ら約220人が参加して盛大に開催されました。

長年地域住民の健康づくり活動やボランティア活動をされている団体、また身体障害者相談員や民生委員として地域福祉を推進している個人に町長表彰、大会会長表彰ならびに感謝状が贈られました。

その後福祉活動推進校の別府小学校児童による合唱、合奏、敬老作文の朗読があり、次に「だんだんくらぶの活動について」と題して、くらぶの西森輝道会長から発表がありました。初めは8人で晩酌をしながら地域の美化活動について話し合っていたのが、現在では会員が50人を超えるほどになり、活動の輪が広がっているとの紹介がありました。

また仁淀中学校生徒会執行部が、あいさつ運動やバス停の清掃、空き缶プルタブ集めなど「生徒会活動について」をスライドを使って発表しました。

昼食、アトラクションに続き、福岡県篠栗町南

第2回健康福祉大会

健康で共に生きるまちづくり

受賞者

町長表彰

食生活改善推進協議会「さざり会」(仁淀地区)

ボランティア「とちの木会」(吾川地区)

井上 兼春 (松谷)

大会会長表彰

中越 信男 (泉) 日浦 秀男 (潰溜)

大会会長感謝状

金尾 大蔵 (桜) 掛水 光枝 (森)

上尾 鈴美 (上土居第1区)



別府小児童の合唱